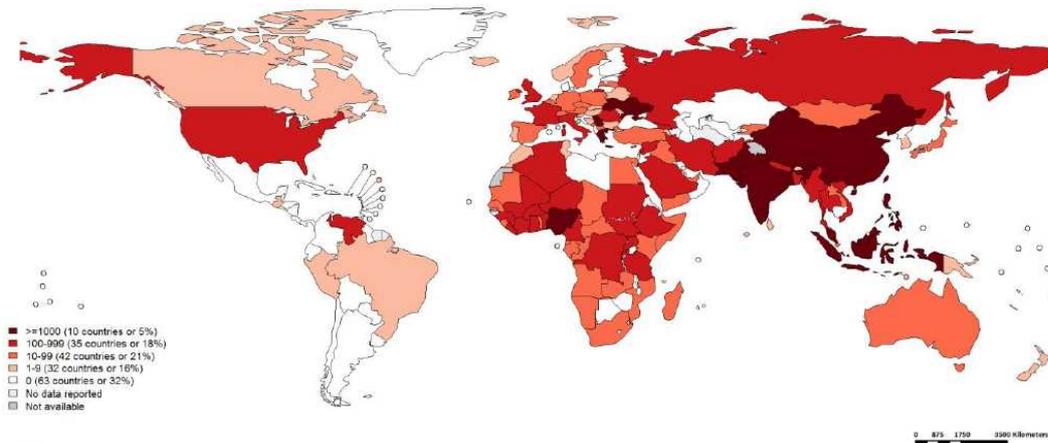


日本における麻しんの発生状況について

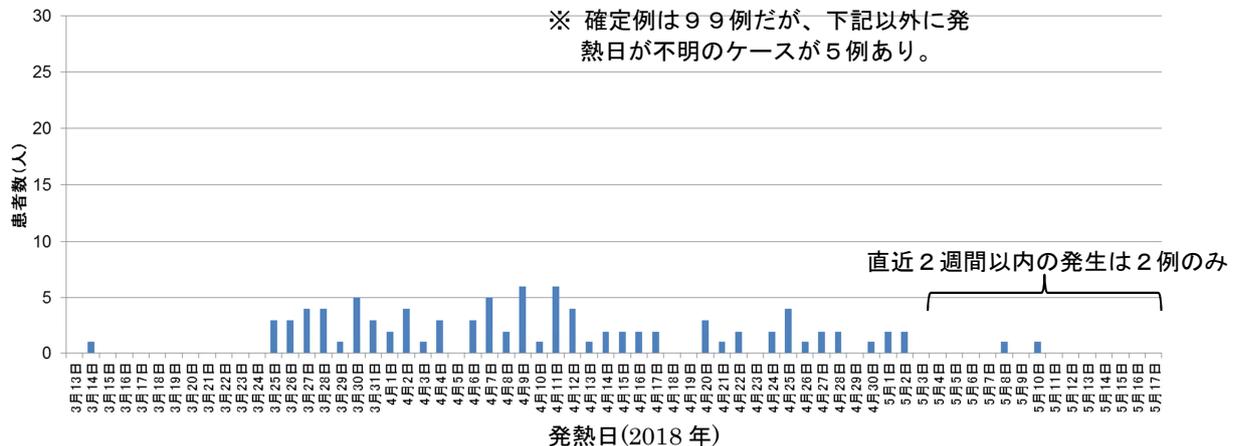
- 日本は、2015年にWHOから麻しんの排除国と認定されております。
- 排除認定されて以降、日本において発生している麻しんは、全て海外において感染した患者が、日本に持ち込むことを発端に感染した事例です。
- 今般、沖縄県を中心に感染が拡大した事例についても、海外からの観光客により持ち込まれたものであり、各地域の衛生担当者によって拡大防止対策が適切に行われています。
- したがって、沖縄県を含め日本は他国・地域と比べ麻しんに感染するリスクが高いということはなく、麻しんが蔓延している状況ではございません。

【世界における麻しんの発生状況（平成29年9月～平成30年2月）】



出典：WHO(世界保健機関) 麻しん報告数
(平成30年4月現在;一部改変)

【沖縄県の麻しん流行曲線（平成30年5月16日現在）】



出典：沖縄県ホームページ「麻しん（はしか）の発生状況について」
(更新日：2018年5月17日)